神奈川LD協会（公益社団法人神奈川学習障害教育研究協会）
2026 年度　事業計画書

１．事業活動方針

学習障害（ＬＤ）をはじめ、注意欠如・多動症（ＡＤＨＤ）や自閉スペクトラム症（ＡＳＤ）など発達障害のある子どもが必要とする教育支援の発展に寄与することを目的に、子どもやその家族を支援する教育相談活動、支援者向け研修会の開催、関連する調査研究活動等を実施する。

２．事業概要

３．事業内容

（１）研修会事業　　（定款第５条第２号および第３号）

① セミナーの開催

- タイトル　特別支援教育きほんのき（仮）　他
- 参 加 費　一回 3,000～5,000 円を予定（平均 4,000 円）
- オンライン/会場での開催を予定
- 学校の長期休み期間（夏休みなど）などに開催
- 1 セミナー３時間程度（半日開催）を予定

② オンライン講座の開催

- タイトル　トラウマインフォームドケア（仮）　他
- 参 加 費　一回 3,000～5,000 円を予定（平均 4,000 円）
- 主に週末開催とし、1 講座 2 時間程度を予定

（２）出版事業　　（定款第５条第２号）

① 啓発ＤＶＤ・ＣＤ等の普及

- 発達障害実践シリーズＤＶＤ、ＣＤなど

② 神奈川ＬＤ協会ライブラリー「知識の森」の普及

- 全３シリーズの普及

（３）教育相談事業　　（定款第５条第３号および第４号）

① 来所による子ども相談

- 問題解決力・対人関係力をつける
- 心理相談、検査、プレイセラピー等
- 一人ひとりの学び方に合った方法を身に付けるための学習支援

② 保護者相談

- 子どもの発達や教育の相談

③ おかしくらぶ

- 発達障害児支援体制の方向性を探るべく、実証的検討を行うパイロットプロジェクトとして「子ども発達相談実践研究プロジェクト」を継続実施する。

④ 教員・支援者相談

- 支援方法や指導内容等についての相談

（４）調査研究事業　　（定款第５条第１号）

① 実践研究

- 学習支援や学校支援、保護者支援に関する先駆的な取り組み

② 情報収集等調査

- 先駆的な実践や研究に関する実地調査等による情報収集

③ 国際協力

- モンゴルダウン症協会へのフォローアップ
- 米国カリフォルニア州教育支援団体コミュニティー・マターズとの情報交換

以上